

3. 定期検査報告書 (昇降機) (第二面)

昇降機の状態等

【1.昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ.確認済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号

【ロ.確認済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()

【ハ.完了検査年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号

【ニ.検査済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号

【ホ.検査済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()

どちらかを抹消

指定確認検査機関名を記入。

初回・未報告の場合にチェックする

【2.検査日等】

【イ.今回の検査】 平成 年 月 日 実施

【ロ.前回の検査】 実施 (平成 年 月 日 報告) 未実施

【ハ.前回の検査に関する書類の写し】 有 無

【3.検査者】

報告者(所有者又は管理者)が保管していること。

【イ.資格】 () 建築士 () 登録 第 号

昇降機等検査員 第 号

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】

【ニ.勤務先名称】

検査員が法人に勤務している場合にその勤務先を記入。

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ.郵便番号】

建築士の検査で、その人が建築士事務所に勤務している場合記入すること。

【ヘ.所在地】

【ト.電話番号】

【イ.資格】

() 建築士 () 登録 第 号

昇降機等検査員 第 号

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】

【ニ.勤務先名称】

検査員が法人に勤務している場合にその勤務先を記入。

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ.郵便番号】

建築士の検査で、その人が建築士事務所に勤務している場合記入すること。

【ヘ.所在地】

【ト.電話番号】

【4.保守業者】

【イ.名称】 3の検査員の勤務先と異なる場合記入すること。

【ロ.郵便番号】 -

【ハ.所在地】 【ニ.電話番号】

【5.昇降機の概要】

【イ.種類】 建築設備 工作物

【ロ.種別】 エレベーター (斜行) エスカレーター 小荷物専用

【ハ.駆動方式】 ロープ式 油圧式 その他 ()

【ニ.用途】 乗用 (人荷共用) 非常用 寝台用 自動車運搬用 荷物用

【ホ.機械室の有無】 有 無

【ヘ.仕様】 (電動機定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (踏段の幅) (勾配)

(Kw) (m/min) (Kg) (人) (m) (度)

【ト.停止階】 B2、B1、1~6、R 階 (停止階床数 9) →(B2~R)では停止階床数が不明となる。

【チ.製造者名】 エスカレーターのみ

エレベーターのみ

【6.検査の状況】

【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格)

要重点点検の指摘あり 指摘なし

【ロ.指摘の概要】 指摘があった場合(要是正・要重点点検)内容を簡潔に記入すること。

【ハ.改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定) 無

【7.不具合の発生状況】

【イ.不具合】 有 無 【ロ.不具合の記録】 有 無

【ハ.改善の状況】 実施済 改善予定 (平成 年 月に改善予定)

予定なし(理由:)

【8.備考】

部品交換などによる変更が生じた場合、【8】の備考欄に記入すること。

3.定期検査報告書(昇降機)(第二面)の記入要領

整理番号 (号機) ・ 協議会に登録されている当該昇降機の整理番号(報告するものを特定する固有の番号です。)を、号機は呼称番号を記入すること。

【1.昇降機に係る確認済証交付年月日等】

- 【イ.確認済証交付年月日】 ・ 「イ」及び「ハ」は直前の確認及び完了検査について記入すること。
- 【ロ.確認済証交付者】 ・ 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入すること。
- 【ハ.完了検査年月日】 ・ 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入すること。
- 【ニ.検査済証交付年月日】 ・ 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入すること。
- 【ホ.検査済証交付者】 ・ 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入すること。

【2.検査日等】

- 【イ.今回の検査】 ・ 検査を複数の日にまたがって行ったときは、その最終日の年月日を記入すること。
- 【ロ.前回の検査】 ・ 直前の報告日を記入すること。(報告の対象でなかった場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ハ.前回の検査に関する書類の写し】 ・ 前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入すること。

【3.検査者】

- 【イ.資格】 ・ 代表となる検査者並びに当該昇降機の検査を行ったすべての検査者について記入し、併せて当該検査者の登録又は交付番号等を記入すること。(当該昇降機の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄に斜線を引くこと。)
- 【ロ.氏名のフリガナ】 ・ 検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先(会社名)を記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入すること。
- 【ハ.氏名】 ・ 「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していないときは、その者の住所を記入すること。
- 【ニ.勤務先名称】 ・ (その他の検査者)が(代表となる検査者)と同一の勤務先の場合は、「同上」と記入すること。
- 【ホ.郵便番号】
- 【ヘ.所在地】
- 【ト.電話番号】

【4.保守業者】

- 【イ.名称】 ・ 検査者の勤務先が上記の3欄の「ニ」と同一の場合は「同上」と記入すること。
- 【ロ.郵便番号】
- 【ハ.所在地】 ・ 検査者が法人に勤務していないときは、その者の住所を記入すること。

【5.昇降機の概要】

- 【イ.種類】 ・ 建築設備である昇降機の場合には「建築設備」のチェックボックスに、工作物である昇降機の場合には「工作物」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを記入すること。
- 【ロ.種別】 ・ 「エレベーター」、「エスカレーター」又は「小荷物専用昇降機」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを記入し、エレベーターであって階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するものは、併せて「斜行」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ハ.駆動方式】 ・ 「ロ」で「エレベーター」の場合に、「ロープ式」、「油圧式」又は「その他」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを記入し、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せてその具体的な駆動方式を記入すること。
- 【ニ.用途】 ・ 「ニ」は、「ロ」で「エレベーター」の場合に、「乗用」、「寝台用」、「自動車運搬用」又は「荷物用」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを記入し、併せて、「乗用」で、「人荷共用」又は「非常用」であるものは、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを記入すること。(「荷物用」とは、乗用、寝台用又は自動車運搬用以外のものをいう。)
- 【ホ.機械室の有無】 ・ エレベーターについてのみ、該当するチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ヘ.仕様】 ・ 「電動機の定格容量」は、駆動装置が電動機である場合のみ、「定員」は乗用エレベーターについてのみ、「階段の幅」はエスカレーターについてのみ、「勾配」はエスカレーター及び階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するエレベーターについてのみそれぞれ記入すること。速度は定格速度、速い方の速度を記入する。 Ex. 【ヘ.】欄(UP30/DN45m/min)

【6.検査の状況】

- 【イ.指摘の内容】 ・ 検査結果、是正が必要と認めるときは「要是正の指摘あり」チェックボックスに「レ」マークを記入し、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを記入し、要重点点検が必要と認めるときは「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】

【7.不具合の発生状況】

- 【イ.不具合】 ・ 第三面の「不具合の概要」欄に記入したとき「有」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ロ.不具合の記録】 ・ 上記で「有」としたとき、その記録が有るときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。当該不具合が既に改善済のときは実施済のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。改善を予定している場合は、改善予定のチェックボックスに「レ」マークを記入し、併せて改善予定年月の最も早いものを記入すること。
- 【ハ.改善の状況】 ・ 改善の予定がない場合はその理由を記入すること。

【8.備考】

- ・ 大臣認定等取得したものは名称と認定番号を記入する。
- ・ 乗用・人荷用・寝台用エレベーターのうち昇降行程が「7m以下」の場合記入する。
- ・ 特に報告すべき事項を記入すること。